

第84回日本薬理学会年会 NBR発表登録演題一覧

分野:腎臓
演題:造影剤腎症ラットに対するベラプロストの効果
演者:杉浦 孝宏
発表日時:3月23日(水) 15:50~16:50
演題番号:P2J13-6

分野:免疫・炎症・アレルギー
演題:ブレオマイシン誘発肺線維症モデルの呼吸機能に対するGefitinibの影響
演者:川崎 由紀子
発表日時:3月23日(水) 15:50~16:50
演題番号:P2J14-3

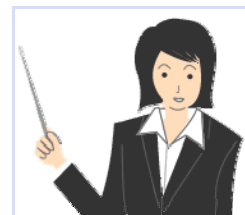
分野:消化器
演題:新規NASHモデルに対するテルミサルタンの効果
演者:杉浦 孝宏
発表日時:3月24日(木) 13:10~14:10
演題番号:P3J13-7

分野:免疫・アレルギー・感染(疾患モデル)
演題:ミニブタを用いたDNFB誘発皮膚炎モデルに対するタクロリムス軟膏およびベタメタゾン吉草酸エステル軟膏の作用
演者:平澤 康史
発表日時:3月24日(木) 13:10~14:10
演題番号:P3J18-3

分野:方法論・技術(皮膚・脂肪組織)
演題:ミニブタ、ラットおよびマウスにおける体脂肪の比較検討
演者:松井 ゆかり
発表日時:3月24日(木) 13:10~14:10
演題番号:P3J17-1

テクニカルプレゼンテーションのご案内

日時: 2011年3月23日(水) 12:00~12:12
会場: J会場内 (パシフィコ横浜 会議センター3F・301-304)
内容: 我が社の業務紹介
演者: 狩野真由美



*テクニカルプレゼンテーション会場のレイアウトは、シアター形式(80席)となります。
同会場内にて、ポスター発表およびブース展示も行っておりますので、是非お立ち寄りください。

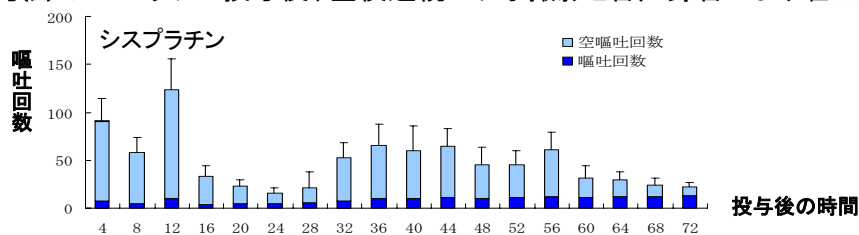


NBRの嘔吐確認試験

抗癌剤による遅延性嘔吐の治療薬開発に不可欠なモデルの紹介です。

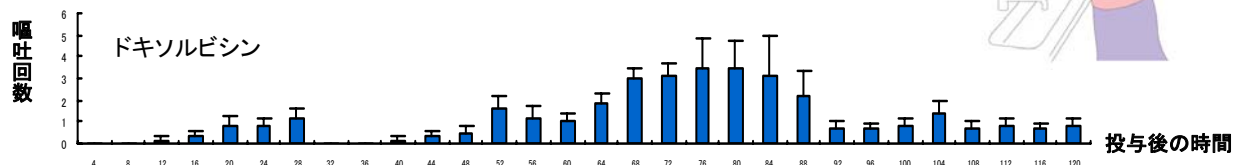
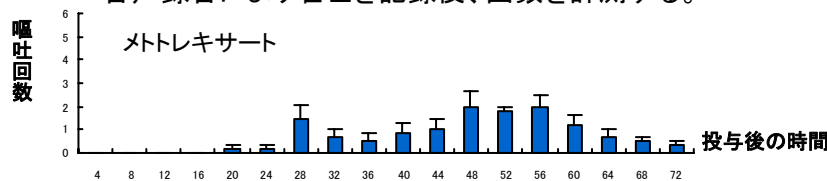
1) フェレットを用いたシスプラチン誘発遅延性嘔吐

方法:シスプラチン投与後、昼夜連続ビデオ撮影と音声録音により嘔吐を記録後、回数を計測する。



2) イヌを用いたメトトレキサートまたはドキシソルビシン誘発遅延性嘔吐

方法:メトトレキサートは投与後72時間まで、ドキシソルビシンは120時間まで、昼夜連続ビデオ撮影と音声録音により嘔吐を記録後、回数を計測する。



なお、上記以外にも麻薬や化学物質誘発の急性嘔吐や、各種薬物の催吐作用確認試験も行っています。

お知らせ:2011年3月22日(火)~24日(木)パシフィック横浜に於いて、第84回日本薬理学会年會にブース展示いたします。また、ポスター発表も致します。詳しくは、裏面をご覧ください。

佐部利 典彦のアートギャラリー(42)

岐阜県出身(1969~)

作者の言葉

抽象的な背景は天と地のイメージです。その中に今生きている僕らがいて、僕らは場所だけではなく、時間や場所や次元を移動します。



『心の絆 - その42 -』

今冬は事の外、厳しい寒さと雪の多い日本列島でした。それが故に、一日も早い暖かい春が待ち遠しいのですが、今回は「春はバラ科から訪れる！」と話題を取りあげました。植物の分類で桜はバラ科であることをご存知でしょうか。日本を代表する桜の花と欧米の代表的な花のバラが同じ仲間であることに意外な感じを持たれる方もいらっしゃるでしょう。同じくバラ科には今、咲いている梅、その後には咲く、桃、桜、ボケ、ユキヤナギ、梨、リンゴ、コデマリ、カイドウ、イチゴ・・・と、白や淡い白、濃淡のある赤などバラ科の花が次々と春の季節を彩っていきます。ですから私は毎年、春はバラ科からやってくるという想いがします。思わぬ木では、北海道の街路樹に見られるナナカマドもバラ科で、初夏に白い小さな花をつけますし、海辺に赤く咲くハマナスもバラ科です。その他、ビワ、スモモ、サクラノボなど果実として食べられるものが多いのもバラ科の特徴と言えるかもしれません。厳しい冬の後に春の訪れは一層の喜びがあります。私たちも一緒に心の花を咲かせ、一人でも多くの人に暖かい春の風を贈りましょう。